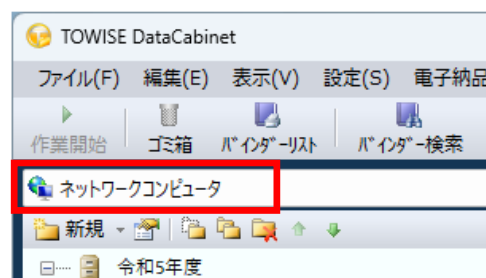


TOWISE を Ver.6.5.0.0 にアップデート後の 初回起動時にデータベースのコンバートに失敗した際の対処法

TOWISE の DataCabinet を「ネットワークコンピュータ」(*1) でお使いの一部のお客様より、Ver.6.5.0.0 にアップデートした後の初回起動時に「DataCabinet が起動できなくなった。」とのお問い合わせがコールセンターに寄せられています。本件の「現象」と「対策」についてご紹介しますのでご確認ください。

- (*1) TOWISE DataCabinet を起動した画面左上に「ネットワークコンピュータ」を表示して作業する環境のことです。(右図を参照ください)



画面左上を常に「マイコンピュータ」と表示してお使いの環境は本件に該当いたしません。ただし、OS環境によっては同様の現象が起きる可能性がございます。その際は次頁に記載の下記項目をご確認ください。

「2、セキュリティソフトの監視対象から除外する」の「A:」と「B:」

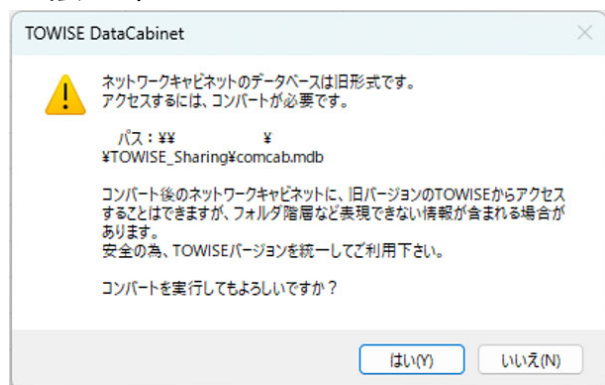
「4、セキュリティソフトで隔離ファイルの復元処理」

【現象】

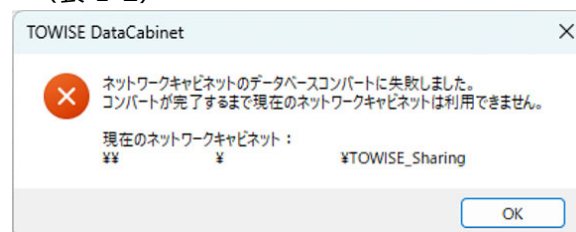
TOWISE DataCabinet を「ネットワークコンピュータ」でお使いの環境では、TOWISE を「Ver.6.5.0.0」にアップデートした後の初回起動時にデータベースのコンバートを実行する確認ダイアログ(表 1-1)を表示します。

このダイアログで【はい】をクリックした直後に「データベースのコンバートに失敗しました」メッセージ(表 1-2)を表示する場合があります。

(表 1-1)



(表 1-2)



【原因】

TOWISE Ver.6.5.0.0では、バインダー情報に新しく「現場情報」の属性を登録できる機能を追加しております。

この「現場情報」の追加により TOWISE を「Ver.6.5.0.0」にアップデートを行った後の初回起動時にバインダーを管理するデータベースのコンバートを行うのですが、セキュリティソフトの影響(誤検知)でデータベースのコンバートに失敗する場合があります。

データベースのコンバートに失敗した場合の対処法は次頁でご紹介します。

【対策】

1、TOWISEは1台のコンピュータだけを起動して行う

複数のコンピュータでTOWISEを起動していると、データベースのコンバートが正常に完了できない場合があります。

TOWISE を Ver.6.5.0.0 にアップデートをした1台のコンピュータを除いて、他のコンピュータの TOWISE は終了した状態でデータベースのコンバートを行うようにしてください。

2、セキュリティソフトの監視対象から除外する

TOWISEをお使いのコンピュータにセキュリティソフトをインストールしてお使いの場合は、セキュリティソフトの監視対象からTOWISEに関する下記フォルダーとファイル（赤色の太文字）を除外してください。

TOWISEデータの保存フォルダーは、DataCabinetのメニューバーより【設定 > 基本設定】の順にクリックして開く 下図の『キャビネットの設定』ダイアログをご確認ください。

※ セキュリティソフトの操作方法については、お客様がお使いのセキュリティソフトの製品マニュアルをご確認いただくか、ご利用製品のサポート窓口へお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

A: TOWISEのプログラムフォルダー

C:¥Program Files (x86)¥**Nikon-Trimble**

インストール時に任意の登録先を指定された場合は、そのドライブもしくはフォルダー内をご確認ください。

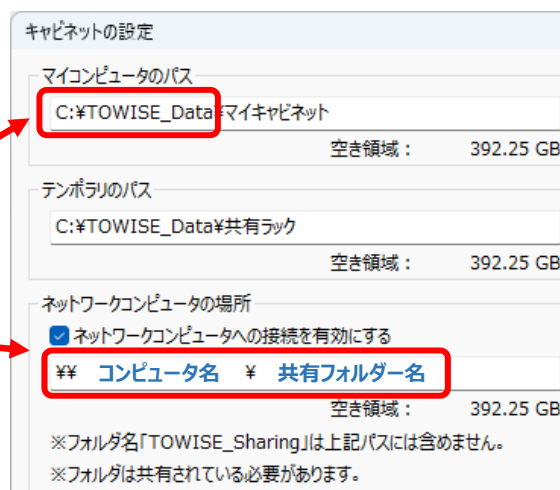
<TOWISEデータの保存フォルダー>

B: 右図の「マイコンピュータのパス」に表示する『**TOWISE_Data**』

C: 右図の「ネットワークコンピュータの場所」に表示する『**共有フォルダー名**』

<ネットワークコンピュータのデータベースファイル>

D: 右図の「ネットワークコンピュータの場所」に表示する「共有フォルダー名」の中にある『**TOWISE_Sharing**』フォルダー内の『**comcab.mdb**』



※ C: D: について除外設定は、「ネットワークコンピュータの場所」に設定されている「コンピュータ名」の PC で行う必要があります。

【対策】

3、NASをご利用の場合

「ネットワークコンピュータの場所」に NAS を設定されている場合、NAS にもセキュリティチェック機能（ランサムウェア／マルウェア対策）が付いているものがありますので、ご利用製品の仕様をご確認の上、『共有フォルダー名』『comcab.mdb』の除外設定を行ってください。

4、セキュリティソフトで隔離ファイルの復元処理

お使いのセキュリティソフトの隔離情報を確認し、隔離されたファイルが存在する場合は該当ファイルのパス（フォルダー名）に「TOWISE」という文字が含まれるファイルの「復元処理」を行ってください。

ご紹介しました「1」～「4」の設定を確認いただいてもデータベースのコンバートに失敗する場合は、お手数ではございますがコールセンターへご連絡ください。お客様のご利用状況をお伺いしながら対処法の調査をさせていただきます。